

近藤 浩一路(こんどう こういちろ)

資 料

軸 『肉筆東海道五十三次漫画
絵巻(漫画東海道)』より「箱根」

・「箱根 ここははこねの かの木坂
下に見ゆるは 畑の茶や 浩」



作 者

1884(明治17). 3. 20－1962(昭和37). 4. 27

山梨県南巨摩郡睦合村南部生まれ。

東京美術学校卒業後も、白馬会研究所で新しい画法を学ぶ。大正4年に読売新聞社に入社し、漫画や挿絵を描く。また、大正10年に日本美術院の同人となり、独自の水墨画を描く。

参考文献

『東海道五十三次漫画絵巻 田河水泡氏寄贈コレクション(町田市立博物館図録
第73集)』(町田市立博物館／編・刊 1991. 1

[地域 K06. 98/60/73(60110186)])

『近藤浩一路展(神奈川県立近代美術館図録 1978年〔1〕)』(神奈川県立近代美
術館／編・刊 1978 [地域 K70. 4/24/78-1(50289370)])

『柿腸 近藤浩一路俳句集』(近藤浩一路／著・刊 1934

[県立 911. 36/96(11952348)])

『坊ちゃん 画譜』(近藤浩一路／著 龍星閣 1954

[県立 726. 5/25(11708179)])

『漫画東海道中膝栗毛』(近藤浩一路／著 磯部甲陽堂 1922

[地域 K72/26(50360304)])